

# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

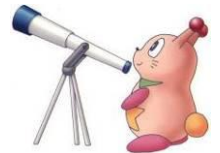
### テーマ番組「スペースコロニー」9月22日から投影がスタート

9月22日(木)から秋のテーマ番組「スペースコロニー」がスタートしましたが、11月19日(土)、20日(日)、23日(水)、25日(金)～27日(日)、12月3日(土)は、テーマ番組の内容が特別投影「宇宙なんちゃらこてつくん」となります。特別投影「宇宙なんちゃらこてつくん」がある回は事前申し込みが必要になります。

## 2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

定員25名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



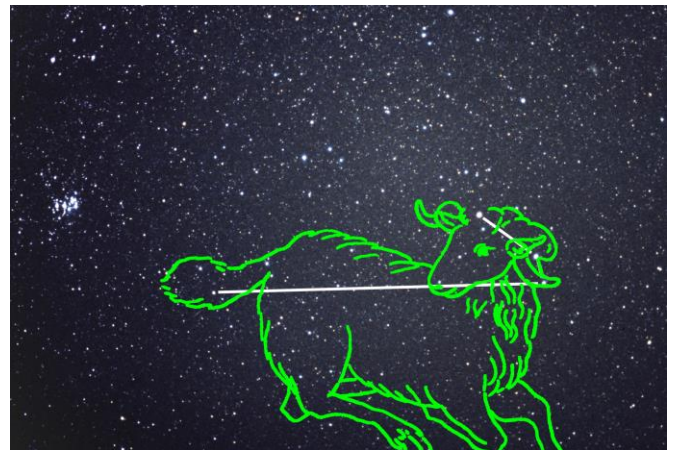
### 11月の注目天体情報

11月のビッグな天文現象「皆既月食」は、おひつじ座で起こります。ちょうどその時おひつじ座には天王星もいます。皆既月食と合わせて今月は「おひつじ座」と「天王星」に注目してみましよう。

### ☆見ごろの星座：おひつじ座

おひつじ座は誕生星座のトップバッターです。これは星占いがはじまった3,000年くらい前に、春分の日には太陽がおひつじ座にあったためです。現在は春分の日には太陽はとなりのうお座にあります。

ギリシャ神話では黄金の毛皮の空を飛ぶヒツジとして登場します。夜空ではすばるの西側にあり、角に輝く2等星と3等星の2つの星が目印です。



おひつじ座とすばる(左の星の集まりがすばる)

### ☆天王星

地球の4倍もある惑星ですが、地球からの距離は約28億キロメートルと遠いため、望遠鏡で見ても小さくて木星や土星のように表面の様子は見えません。しかし、少し面積を持った姿から、恒星とははっきり違いがわかります。天王星は84年で太陽の周りをまわっています。

ほかの惑星と違うのは横倒しになっていることです。これははるか昔に大きな天体と衝突した影響と考えられています。天王星は5.7等星という目で見えるぎりぎりの明るさです。



ボイジャー2号が撮影した天王星